

令和8年度 星久喜中部活動ガイドライン

千葉市立 星久喜中学校

校長名 後藤 健次

教育目標	<p>○学校教育目標である「心身ともに健やかで、未来を拓くため、主体的に学び、協働的に活動できる生徒の育成」の具現化に向けて、下記【部活動の教育的意義】を踏まえ、生徒・保護者等と共通の認識をもった上で、よりよい部活動運営を目指す。</p> <p>【部活動の教育的意義】 部活動は、生徒がスポーツや文化等に親しみ、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するものとして、学校教育の一環として行われるものであり、また、体力や技能の向上を図る以外にも、好ましい人間関係の形成や社会性・公共性を身につけるなど、生徒の多様な学びの場として有効であり、大きな教育的意義をもつ活動である。</p>
部活動の 基本方針	<p>○顧問は、担当する部の特性等を踏まえ、できるだけ短時間に、合理的かつ効率的・効果的な活動を工夫する。</p> <p>○過度な練習や行き過ぎた指導にならないよう、日頃から十分注意するとともに、言葉の暴力を含む体罰の根絶を徹底する。</p> <p>○1日の活動時間は、平日においては2時間程度、学校の休業日は3時間程度を基準とする。</p> <p>○学期中は、週当たり2日以上休養日を設けること、平日は少なくとも1日、土曜日・日曜日は少なくとも1日以上を休養日とすることを基準とする。 ただし、3連休など休日が続く場合は、1日以上適切な休養日を設けることとする。また大会等のために土曜日・日曜日・休養日ともに活動した場合は、次週の平日に休養日を振り替える。</p> <p>○生徒の学習時間の確保ができるよう、定期試験前7日間は部活動停止とする。 ただし、大会等の場合は、校長の許可を得て活動する場合もある。</p> <p>○生徒が十分な休養を取り、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、お盆期間や年末年始にはオフシーズンを設ける。</p> <p>○学校独自の休養日として、各種会議（職員会議・学年会議・職員研修日）及び市教研を行う日、または、指定した日を平日のノー部活動デーとする。</p> <p>○顧問は、指導にあたる際、けが等の発生に十分注意し、生徒の安全・安心の確保を徹底する。 また、けが等が発生した場合は迅速かつ適切に保護者や医療機関と対応し、管理職、養護教諭への報告・相談を行う。</p> <p>○顧問は、年間活動計画並びに毎月の活動計画を作成し、校長へ提出するとともに、生徒・保護者へ周知する。</p> <p>○顧問は、年度始めの保護者会等で、学校全体の目標や方針、各部の目標や方針、計画等について説明し、理解を得ながら活動する。</p>